県生コンクリート工業組合総会

新理事長に江夏氏

県生コンクリート工業組合（桑木喜行理事長）は18日、鹿児島市のベイサイドガーデンで第27回通常総会を開き、品質管理監査の充実、工場集約化事業の推進等を重点項目とする新年度事業計画を決めた。また任期満了に伴う役員改選では、新理事長に江夏洋氏（鹿児島菱光コンクリート㈱）、新副理事長に福永重男氏（㈱ガイアテック）、福山昭彦氏（南国生コンクリート㈱）を選出した。

総会では、初めに桑木理事長が先行き厳しい現実を十分認識し、共同化、集約化、合理化等の重要性を述べた後、「10年間、理事長を務めてきたが今回退任することになった。今後は若い人を中心に組合発展に努めていただきたい」と挨拶。

続いて、村上富士雄理事を議長に議事に入り、16年度事業報告・収支決算、17年度事業計画・収支予算案などを慎重に審議し、全て原案通り可決承認した。最後に江夏新理事長が「難問が山積する中、処理、解決には皆さんの協力がないと成し得ない。私に対する叱咤激励と捉え、一生懸命に頑張っていきたい」と抱負を述べた。

新年度事業計画の重点項目は、①品質管理監査の充実②協組共販事業の指導③技術に関する講習会の開催、外部講習会への参加④工場集約化・共同輸送事業の推進⑤計算事務共同化・組合情報ネットワークの推進－など。また、共同試験場設立については、県内の生コンなど建設資材7団体で構成する県コンクリート骨材対策協議会（7団体）において、同試験場設立準備委員会等を設置し、16年1月から検討が行われており、今後も引き続き検討を進めることにしている。

17年度需要量は、官公需は減少傾向、民需はやや増加するものと予想されるが、港湾、漁港、道路、河川工事およびマンション建築など一部継続的需要なども見込まれることから、年間220万㎥の出荷を見込んでいる。

また、同総会に先立ち、県生コンクリート協同組合連合会（桑木喜行会長）の第6回通常総会も開かれ、共販事業や工場集約化事業の推進などを柱とする新年度事業計画等を決めた。

新役員は次の通り。

理事長＝江夏洋▽副理事長＝福永重男　福山昭彦▽専務理事＝森園顕仁（員外）▽理事＝中西伸一（南州コンクリート工業㈱）勝山祥二郎（南九州コンクリート㈱）野村三郎（薩摩コンクリート㈱）森千秋（㈱成栄）榎元廣光（荒川生コンクリート㈱）雲満富夫（入来生コンクリート㈲）桑木喜行（共同コンクリート工業㈱）林隆秀（大口生コンクリート㈲）野添正文（エスピー生コン㈱）村上富士雄氏（鹿屋小野田レミコン㈱）森義久（㈱森栄生コン）中島竜作（田代コンクリート工業㈱）下村満雄（種子島協同コンクリート工業㈱）竹山廣和（奄美コンクリート工業㈱）永井ひとみ（丸八コンクリート工業㈱）▽監事＝米盛直樹（日研マテリアル㈱）増田修（土佐屋生コンクリート㈱）

工場集約化事業の推進などを決めた総会＝鹿児島市のベイサイドガーデンで

県電設協会総会

分離・分割発注を促進

県電設協会（山ノ内文治会長）は18日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で第32回通常総会を開き、分離・分割発注の促進や関連団体との協調、各種講習会による技術の向上等を盛り込んだ新年度事業計画を決めた。

総会の冒頭、山ノ内会長が「厳しい業界状況の中、技術力・営業力の強化はもちろん、品質管理となる。今年度も、分離・分割発注の促進を最大のテーマとし、会員一丸となって資質の向上に努めていこう」と挨拶。

議事では、秋丸紘一氏（マルサン工業㈱）を議長に全7議案を審議。16年度事業・収支決算報告及び17年度事業計画・収支予算案を全会一致で可決承認したほか、新規会員として丸岩電機㈱（鹿児島市）の入会も報告した。

新年度事業における推進項目は、①大型工事の分離・分割発注促進と地元業者への発注拡大②関連団体との連携・協調③国・県・市町村ほか関係機関との研修推進④安全管理活動促進事業や現場の安全パトロール実施⑤ボランティア活動など地域社会への貢

新年度の推進項目等を決めた総会＝鹿児島市のパレスイン鹿児島

ベンチャープラザ鹿児島・二水会

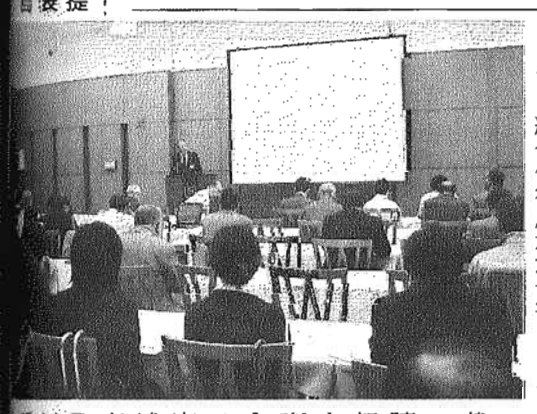
4社の事業内容等発表

かごしま産業支援センター、県工業倶楽部、九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会主催による「ベンチャープラザ鹿児島・二水会」は18日、鹿児島市の鹿児島東急インで鹿児島地域のベンチャー企業4社の新製品や事業内容の発表や情報交換の交流会を開催。中小企業や金融機関、行政機関の担当者ら多数が参加し、発表会や交流会を通

流が行われた。今回で25回目。

発表では、トップエンジニアリング㈲（前田和弘社長）がインターネットでできる「総合住宅展示場ビバリーズ」のフランチャイズ展開や㈲霧島環境サービス（濵田高美社長）の「産業廃棄物を再利用させるビジネスモデルの提案」などが行われた。

うち、総合住宅展示場ビバリーズはインターネットにバーチャルな住宅展示場を提案し、加盟住宅メーカーのモデルハウスを紹介、掲載料を払いネット上の資料請求で顧客情報を得られる。また、産業廃棄物を再利用させるビジネスモデルの提案は環境保全補助商材の販売及び二次製品製造販売などについて説明した。

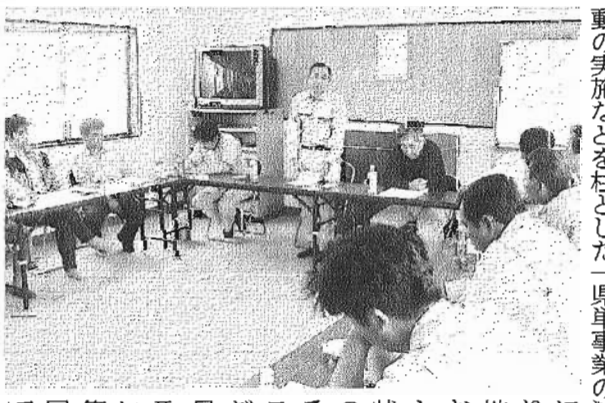

ビジネスモデルの提案などが行われた発表会＝鹿児島市の鹿児島

吹上町建設互助会総会

海岸清掃奉仕等柱に

吹上町建設互助会（三窪球利会長）は17日、日置市吹上町の互助会館で17年度通常総会を開き、海岸清掃及び道の日清掃作業などボランティア活動の実施などを柱とした新年度事業計画などを決めた。

冒頭、三窪会長が「吹上も日置市として新たなスタートを切ったが、17年度の県予算においては県単事業の減少にもさらに拍車がかかり、われわれ地方建設業においては依然として厳しい状況が続くものと予想される。しかし、このような時だからこそ会員同志が手を取り合い、互いの英知を結集してこの難局を乗り切っていかねばならない」と挨拶。


新年度事業計画を決めた総会＝日置市の互助会館で

続いて、三窪会長を議長に選出して議事に入り、16年度収支決算報告並びに事業報告、17年度収支予算案と①海岸清掃ボランティア②道の日（8月4日）清掃③降雪時の除雪作業④安全祈願祭・新年会－などを柱とした17年度事業計画案を審議し、執行部原案通りに可決承認した。また、㈱アドバンス・アシスト（原口盛明社長）の新規加入を全員一致で承認した。

木佐貫山佐産業社長が死去

あす、告別式

木佐貫大史氏（山佐産業㈱代表取締役）が17日午後11時頃、死去した。64歳。通夜はきょう19日午後6時、葬儀告別式は20日午前11時から、いずれも高山町の横山葬祭斎場・天山会館（☎0994・65・2844）で執り行われる。喪主は妻・京子さん。葬儀委員長は同社・佐々木典明副社長。

氏は、昭和15年11月23日に生まれ。昭和39年に駒沢大学経済学部を卒業後、同社に入社。昭和62年に代表取締役社長に就任、時代に即応した企業経営、合理化などに取り組み、経営トップとして、その手腕を発揮してきた。

また、協同組合鹿屋建友会理事、県建設業協会理事並びに肝属支部副支部長、県舗装協会肝属支部支部長、県森林土木協会肝属支部副支部長などを歴任。氏の広い見識と豊かな人間性から、建設業界以外の各方面から高い評価を得て県労働基準協会肝属支部の理事なども務めてきた。

県事業評価監視委員会

きょう、公募委員

県はきょう19日午後1時から、鹿児島市の県庁で「県事業評価監視委員会」公募委員選考委員会を開く。

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

2005年版
定価12,600円
うち消費税600円・送料別
建設業者要覧
県内外約3,000社収録
お問い合わせは
企画営業部
TEL 099-227-5100(代表)
FAX 099-225-1936(専用)